

子どもたちの成長とさらなる向上への取組を確認しましょう

1 子どもたちの成長・変容 () は前期の数値

前期の結果と比べて、「相手や場面を考えた行動」「自己肯定感の醸成」「メディアの利用ルール」の項目において、伸びが見られました。これは、前期の結果を受けて、児童、教職員、保護者の皆様が、課題を意識しながら、目標をもって、子どもたちの成長に向けて取組を進めていった成果ととらえています。

◎相手や場面を考えて話したり行動したりできる	[児童:3.7(3.4)、保護者:2.9(2.8)、教職員:3.2(3.0)]
◎自分にはよいところがあると思う	[児童:3.3(3.3)、保護者:3.1(3.0)、教職員:3.2(3.2)]
◎テレビやゲーム、携帯電話などのルール	[児童:3.6(3.5)、保護者:3.2(3.0)、教職員:2.9(2.8)]

【子どもたちの成長を支え、変容につなげた取組】

相手や場面を考えた行動

- ・地域行事で、子どもたちが活躍する場を多く設け、自分の役割を意識した行動ができるようにしました。
- ・保護者、地域住民の皆様が積極的に子どもたちに声をかけ、自信がつけました。

自己肯定感の醸成

- ・日常の生活や各種行事等において、目標を達成する喜びを味わえるよう工夫しました。
- ・おたよりやブログ、連絡帳などで子どもたちの成長の様子を伝えました。

メディアの利用ルール

- ・親子でスマホの安全利用について学んだり、ご家庭でルールを設けたりし、子どもたちが意識して生活できるよう工夫しました。
- ・生活リズムチェックなどを定期的に行い、自分の生活を振り返る機会を設けました。

他にもこんな変容が！

- ◎児童は、「本や新聞をよく読む」と感じています。 [児童:3.4(3.3)]
- ◎保護者は、「学校の授業がよくわかっている」と感じています。 [保護者:3.0(2.8)]
- 引き続き、授業改善と読書習慣の定着に努めます。



2 さらなる向上を目指して () は前期の数値

前期と比べて、数値が下がったのが「発表」「好き嫌いをしないでよく噛んで食べる」「運動習慣」でした。「発表」について、子どもたちは成長を感じていますが保護者や教職員は、もっと伸ばしてあげたいという願いをもっていると考えられます。「食べること」「運動習慣」については、望ましい生活習慣に向けた意識の向上と考えられます。私たちは、子どもたちのさらなる向上・成長に向けて取組を進めていきます。

△自分の考えや気持ちを発表することができる	[児童:3.3(3.2)、保護者:2.8(2.9)、教職員:3.0(3.3)]
△好き嫌いせずによく噛んで食べる	[児童:3.6(3.6)、保護者:2.9(3.0)、教職員:3.0(3.1)]
△積極的に運動する	[児童:3.5(3.6)、保護者:2.9(3.1)、教職員:3.2(2.9)]

【今後の取組チェックリスト】

自分の気持ちや考えを発表する

☆学校では

- 自分の考えをもち、友達と伝え合いながら、考えを深めることができるよう、授業改善を行います。
- 朝の会などを使って、日常的に自分の考えや思いを話すことができるようリレートークなどの取組を行います。

☆家庭では

- お子様が自分の言葉で体調などについて説明する場や、家族のお話をじっくり聞く場を設けていただけませんか。

好き嫌いせずよく噛んで食べる

☆学校では

- 各学年において子どもたちが食事のマナーや食事と健康について学ぶことができるよう食育指導を行います。
- 日常的に意識できるよう掲示物や資料を作成し、ご家庭でも取り組むことができるようにします。

☆家庭では

- ご家庭でのやくそくやルールづくりを行い、「嫌いなものでも一口食べよう」などの声かけをしていただけませんか。

積極的に運動する

☆学校では

- 「体力アップコーナー」の設置や「中西別小サーキット」「運動タイム」など、子どもたちが目標をもって運動できるよう、学校全体で体を動かす機会を設けます。
- 学年遊びや集団遊びを工夫し、楽しく運動できるようにします。

☆家庭では

- なわとびやランニング、ウォーキングやお手伝いなど、少年団の練習がない日に取り組ませていただけませんか。